



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫 ■ 「中国人民に告ぐ」②

現在われらは対日抗戦で勝利を得たといふものの、未だ最終的な勝利とは言われない。この勝利の意義するところは、決して世界の正義の力が、ただ一勝を制しただけではないと、ぜひ知って欲しい。それは全世界の人類もわが全国の同胞とともに、今次の戦争を以て、世界の文明国家が参加した、最終戦争となるように切望しているものと、余は確信しているからである。

もし今次の戦争が人類史上最後の戦争となるならば、たとえわが同胞がかつて、いかに筆舌に絶する残虐と屈辱を受けてきたとはいえ、しかしわれらは戦争の結果生じた、犠牲とその賠償の大小及び、勝利による戦果の遅早を、決して比較詮索(詳しく調べる)したりはしないと信じている。

わが中国人民は最も暗い絶望的な時代にあつても、なお民族を一貫している忠勇仁愛・偉大なる堅忍不拔の伝統精神を均しく堅持し、正義と人道のために捧げた総ての犠牲は、必ずそれ相応の報いが得られると、深く知っていたからである。それ故この戦争によって統合された、世界民族相互の間に芽生えた尊重と信念こそ、今次の戦争がわれらにもたらした、最大の報酬であつた。

わが連合国の青年が血肉を以て、この反侵略の巨大な堤防を建設したが、この建設に参加した総ての人は、ただ一時的に結合した盟友としてだけではなく、正に人類尊厳の共通信念を現実すべく、永久に結束し始めたのである。これこそわが連合国(一九四五年六月にサンフランシスコで成立)の、共通理念である勝利の最も重要な基盤であり、たとえ敵がいかに分裂させようと挑発し、陰謀を企てようとも、絶対に破壊はされまい。

今後は洋の東西を分かつたず、人種の如何を問わず、すべての人類が日を迫つて、ますます密接に連合すれば、やがては一大家族のようになれるものと信じている。

今次の大戦でわが人類は、相互諒解(許しあい理解しあう)、相互尊敬の精神を発揚(一段と高め伸ばす)し、相互信頼の関係を打ち立てることができた。これによって世界大戦中でも、世界平和になった今日でも、この信頼関係こそ密接にして不可分であることが立証され、ひいては、将来における戦争の発生を一層不可能ならしめるものである。

ここまで述べてきた余は、またイエスキリストが垂訓(マタイ福音書5章〜7章)で論された「己に対する如く人にもせよ」「汝の敵を愛せ」(続く)

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

